

昭島市教育委員会 殿

学校名 昭島市立田中小学校

校長名 土屋 正登

平成31年度 特別支援教室の教育課程について（届）

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援教室による指導を下記のとおりお届けいたします。

記

1 特別支援教室の教育目標

児童一人一人の障害や能力に応じて、学校の教育目標〈よく考える子・思いやりのある子・たくましい子〉を常に意識した適切な教育・支援を行い、児童が学校や家庭、社会において主体的に自己の力を可能な限り発揮しながら、安定した生活が送れるようにする。

2 教育目標を達成するための基本方針

(1) 児童への指導

- ・一人一人の課題に応じた自立活動（小集団活動、個別学習）を行う。

(2) 保護者との連携

- ・児童の状態や課題、学習目標等について保護者と共有し、互いに連携しながら児童を支援する。

(3) 在籍校・学級担任との連携

- ・児童の課題、学習目標について在籍校や学級担任と理解を共有し、互いに協力しながら児童を支援する。

(4) 指導日数など

- ・指導日数、指導曜日、指導時間数は、在籍学級での適応状況を見て担任と協議し決める。

3 指導の重点

- ・学級内における全ての指導や活動を通して、意思表示を促し、言葉、動作、表情などのコミュニケーションの能力を伸ばしながら、人間関係の改善を図る。
- ・生活のリズムや習慣を身に付けさせ、心身共に健康で安全な生活が送れるようにする。
- ・基本的な運動を通し、運動能力や感覚機能の向上を図る。
- ・ルールを理解を図り、周囲の状況を把握し、行動をコントロールできるようにさせる。
- ・作業を通して、集中力や持続力の向上を図り、やり遂げる経験を多くもたせる。
- ・在籍校・保護者と連携し、個々の児童の実態に応じた適切な進路指導を行う。

4 その他の配慮事項

- ・個別や小集団グループの指導内容は、学年や発達特性、児童同士の関係を考慮し決める。
- ・家庭や担任との連携を大事にする。
- ・通級児の在籍学級の児童が、特別支援教室での活動を理解するための啓発活動を行う。
- ・専門員の仕事を明確にし、特別支援教室の運営が円滑に進むようにする。